

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債権金額との差額について重要性が乏しいため償却原価法は採用していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	110,000,000	0	0	110,000,000
有価証券	31,500,000	0	0	31,500,000
美術品	767,262,535	0	0	767,262,535
小 計	908,762,535	0	0	908,762,535
特定資産				
美術品取得資金	446,861,302	0	5,403,584	441,457,718
設備取得資金	85,000,000	0	0	85,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
美術品	0	14,772,000	0	14,772,000
小 計	551,861,302	14,772,000	5,403,584	561,229,718
合 計	1,460,623,837	14,772,000	5,403,584	1,469,992,253

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	110,000,000	(0)	(110,000,000)	(0)
有価証券	31,500,000	(0)	(31,500,000)	(0)
美術品	767,262,535	(0)	(767,262,535)	(0)
小 計	908,762,535	(0)	(908,762,535)	(0)
特定資産				
美術品取得資金	441,457,718	(0)	(441,457,718)	(0)
設備取得資金	85,000,000	(0)	(85,000,000)	(0)
定期預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
美術品	14,772,000	(0)	(14,772,000)	(0)
小 計	561,229,718	(0)	(561,229,718)	(0)
合 計	1,469,992,253	(0)	(1,469,992,253)	(0)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
日本国債(第267回)	10,312,000	10,216,000	△96,000
日本国債(第90回)	20,080,000	20,108,000	28,000
日本国債(第277回)	21,074,000	20,910,000	△164,000
日本国債(第299回)	20,972,000	21,330,000	358,000
米国国債	32,561,853	36,288,485	3,726,632
米国国債	42,624,608	47,232,229	4,607,621
米国国債	4,262,460	4,723,223	460,763
豪国国債	23,238,087	27,357,760	4,119,673
豪国国債	37,180,939	43,772,416	6,591,477
合 計	212,305,947	231,938,113	19,632,166

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。